

平成21年

狛江市子ども議会会議録

平成21年7月18日(土)開催

狛江市

狛江市子ども議会の目的について

狛江市では、次代を担う子どもたちとその子どもたちを育てる家庭を、社会全体でさまざまな方向からできる限り支援することによって、子どもが心身ともに健やかに、そしていきいきと育つ環境を創出していくために、平成16年度に「狛江市次世代育成支援行動計画」を策定しました。その計画の中に、子どもたちの権利や意見を表明する機会として、子ども議会の開催が示されております。

子ども議会は、子どもたちが議会や行政の仕組みや役割を学び、社会の一員としての自覚を培うとともに、子どもたちの意見や要望を、狛江市のまちづくりに反映させていくことを目的としております。

子ども議会当日の様子





平成21年狛江市子ども議会会議録
目 次

7月18日	
出席議員	1
欠席議員	1
狛江市議会議員出席者	2
出席説明者	2
議事日程	3
開 会	4
市長あいさつ	5
座る場所の指定	6
子ども議会の日程	6
一般質問	
鈴木 一成議員	6
1. 新型インフルエンザ対策について	
2. 他市との連携と市の活性化について	
園田 健太議員	8
1. 図書館の本をふやすことはできるのか	
2. 市民グラウンドの開放について	
3. 環境問題（エコキャップ）について	
山田 紗季議員	10
1. 狛江駅の駐輪場について	
2. 公園の美化について	
鈴木 智香議員	11
1. タバコのポイ捨てについて	
2. 子ども議会の結果について	
永島 美純議員	13
1. 放置自転車について	
2. 警察署について	
日浦 愛夏議員	15
1. 交番をつくってほしい	
2. エコルマホールについて	
栗山 愛美議員	16
1. 街路樹等の木や花を増やしてほしい	
2. 花の苗や種を配るイベントをしてほしい	
栗山 めぐみ議員	18

1.	学校施設について	
2.	学校の選択制について	
斉藤	海議員	19
1.	サッカーや野球ができる広い公園を作ってほしい	
2.	「ゴミ半減作戦」について	
青島	直輝議員	21
1.	河川敷の活用について	
2.	学校へのクーラー設置について	
田宮	英宜議員	22
1.	道路の幅を広げ、街灯を増やすことについて	
2.	多摩川のごみについて	
3.	不況対策と地域活性化について	
増田	真由議員	24
1.	市内医療機関増設予定があるか	
2.	読書の町～狛江について	
浅野	拓未議員	25
1.	校庭の芝生化について	
2.	ボールで遊べる公園について	
大仁田	千晶議員	27
1.	老人ホームの増設について	
2.	こまバスの設備について	
中居林	舞子議員	28
1.	不審者対策について	
2.	公園へのトイレと時計の設置について	
野元	大暉議員	30
1.	小学生の医療費について	
2.	図書館の建設と広場の建設について	
3.	老人ホームの増設について	
藤田	はるか議員	32
1.	地球温暖化について	
2.	絵手紙について	
日野	佳澄議員	33
1.	西野川広場（旧七小）のグラウンド開放について	
2.	市民プールについて	
3.	川口町との交流について	
閉	会	36

平成
21年

狛江市子ども議会会議録

7月18日(土曜日)

出席議員(18名)

1番	鈴園	木田	一健	成太	議	員
2番	山	田	健	太	議	員
3番	山	田	健	太	議	員
4番	鈴	木	紗	季	議	員
5番	永	島	智	香	議	員
6番	日	浦	美	純	議	員
7番	栗	山	愛	夏	議	員
8番	栗	山	愛	美	議	員
9番	齊	藤	めぐみ	み	議	員
10番	青	島	直	輝	議	員
11番	田	宮	英	宜	議	員
12番	増	田	真	由	議	員
13番	浅	野	拓	未	議	員
14番	大	仁田	千	晶	議	員
15番	中	居	舞	子	議	員
16番	野	林	大	暉	議	員
17番	藤	元	は	る	議	員
18番	日	田	佳	か	議	員

欠席議員(なし)

狛江市議会議員出席者

議 長 道 下 勇 君

出席説明者

市 長	矢 野 裕 君
副 市 長	松 原 俊 雄 君
教 育 長	木 村 忍 君
企 画 財 政 部 長	水 野 穰 君
総 務 部 長	吉 野 博 明 君
市 民 生 活 部 長	小 川 浩 志 君
福 祉 保 健 部 長	大 久 保 幸 藏 君
建 設 環 境 部 長	渡 辺 洋 君
教 育 部 長	穂 山 伸 芳 君

事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長	内 山 恵 市 君
議 会 事 務 局 次 長	杉 山 勝 行 君
児 童 青 少 年 課 長	松 坂 誠 君
議 会 事 務 局 議 事 庶 務 係 長	武 田 眞 悟 君
議 会 事 務 局 議 事 庶 務 係	丸 山 直 樹 君

7月18日議事日程

- 第 1 座る場所の指定
- 第 2 子ども議会の日程
- 第 3 一般質問

(順 番)

鈴木 一成 (狛江第一小学校)
園田 健太 (狛江第一小学校)
山田 紗季 (狛江第一小学校)
鈴木 智香 (狛江第三小学校)
永島 美純 (狛江第三小学校)
日浦 愛夏 (狛江第三小学校)
栗山 愛美 (狛江第五小学校)
栗山 めぐみ (狛江第五小学校)
斉藤 海 (狛江第五小学校)
青島 直輝 (狛江第六小学校)
田宮 英宜 (狛江第六小学校)
増田 真由 (狛江第六小学校)
浅野 拓未 (和泉小学校)
大仁田 千晶 (和泉小学校)
中居林 舞子 (和泉小学校)
野元 大暉 (緑野小学校)
藤田 はるか (緑野小学校)
日野 佳澄 (緑野小学校)

7月18日会議に付した案件

議事日程と同じである。

午前 9時7分 開会

議会事務局長（内山 恵市君） 皆さん、おはようございます。

これから子ども議会を始めます。

開会前に、狛江市議会の道下議長からごあいさつをいただきたいと思います。

狛江市議会議長（道下 勇議員） 狛江市子ども議会の議員の皆様、おはようございます。

多少、ふだん教室で座っている席と違って緊張していると思いますけれども、議長の私も大変緊張しております。今日は傍聴席にお父さん、お母さん方がいらっしゃっています。その応援を背中に受けてしっかりと頑張りたいと思います。

夏休みの思い出になる子ども議会がこれから始まるわけですが、今日、議員の皆様は第一小学校から緑野小学校まで各学校3名ずつ18名の議員構成になっております。ふだんは、この市議会は狛江市議会22名の市議会議員の定数で議事を運営しております。この本会議場で年4回の定例会、そして臨時会と議会が開催されています。

ちょっと難しい話になりますが、政治は市民一人ひとりの幸せのために、そして、地域の繁栄のために行うことが目的であると考えております。そのために、狛江市では、今年374億5,800万円という税金が私たち市民の生活のために使われております。

3月の予算議会では、市長が提案されたこの374億5,800万円の予算が市民一人ひとりの幸せのために組まれているのか、そして、狛江市の市政の、また、街の発展につながっていくのか、こうしたことを審議をします。そして、9月、10月の決算では、議員はこのお金が1年間そのような目的に沿って使われたか審議をします。こうした審議をするのが議員の仕事であり議会の役割であります。そして、そのために、国で言うと法律、狛江で言うと条例ですけれども、そういう条例がしっかりとつくられているかをチェックするというのが議員の仕事の主な内容です。

今日は、子ども議会の議員の皆さんは一般質問、いわゆる質問を市長や教育長にされるわけですが、ふだん私たちも市民の皆様方からさまざまな要望をお聞かせいただいております。また、私たち市議会議員も個人としてさまざまな形から勉強を日ごろ研さんし、こういうまちづくりをしていったほうがいいのかという提案や、ここのところはもう少しこのように改善したほうがいいのか、さまざまな形で市民要望を市長や教育長にぶつけております。

今日は、日ごろそうした私たち議員の観点からちょっと違った、子ども議員の皆さんのさまざまな発想が質問として聞かれると期待をしております。今日子ども議事を大きな契機として、皆さん方が今後狛江市のまちづくりに大いに期待を持っていただくことを心から念願してあいさつとさせていただきます。

ぜひ頑張ってください。以上です。

議会事務局長（内山 恵市君） ありがとうございます。

なお、道下議長は用事がありますので、ここで退席させていただきます。

また、本日、ジェイコムケーブルテレビが子ども議会の様子を撮影しますので、ご

了解いただきたいと思います。

それでは、ただいまから平成21年子ども議会を始めるわけですが、議長が決まるまでの間、司会を務めさせていただきます議会事務局長の内山です。どうぞよろしくお願いいたします。

議会事務局長（内山 恵市君） 最初に議長と副議長の選出をお願いするわけですが、議長と副議長につきましては、私のほうから指名させていただきます。

議長には緑野小学校日野佳澄議員、副議長には狛江第一小学校鈴木一成議員にお願いします。

それでは日野佳澄議員、議長席に着席願います。

（日野佳澄議員 議長席に着席）

議長（日野 佳澄議員） 開会前に1点報告いたします。ビデオ・写真撮影等の申し出があった場合には許可いたしますので、ご了承いただきたいと思います。

ただいまから平成21年子ども議会を開会します。

議長に選出されました緑野小学校の日野佳澄です。よろしくお願いいたします。

最初に、市長からあいさつのため発言を求められておりますので、お願いします。

市長。

市長（矢野 裕君） 皆さん、おはようございます。今日から、皆さんが楽しみにしていた夏休みに入りましたね。この夏休みの最初の日に狛江市子ども議会に出席をいただきまして、本当にありがとうございます。



今日は、平成19年に続いて2回目の子ども議会になります。子ども議会は、将来の狛江市を担う小学生の皆さん方が狛江市のことを考え、そして、自分の夢や希望を話すことを通じて、地域社会の一員として狛江のことに意識や関心を持っていただきたい、このことを目的にしています。

この議場では、日ごろから市議会議員の皆さんと、それから私たちとの間で狛江をどう発展させていくのか活発な議論が行われています。

皆さんからいただいた質問通告の内容を読ませていただきましたけれども、大人の市議会議員に負けないくらい狛江市のことを考え、そして、狛江がどうあってほしいのか、一生懸命考えてくださっている質問だと、そのように実感をいたしました。

日ごろ皆さん方、小学生の意見を聞く機会というのがなかなかありませんので、今日子ども議会に出された意見や提案については、できるものもできないものもありますけれども、これからまちづくりを進めていく上でしっかりと参考にさせていただきます。

議場は大変大きく、傍聴者も大勢いらっしゃっている中で、皆さんも少し緊張しているかと思いますが、それぞれの小学校の代表として子ども議員として胸を張って堂々と質問してください。

私たちがふだんはここにいる部長たちがそれぞれ担当を持っていて、自分の担当の質問について分担をしながらお答えをしていますけれども、今日は2年に1回の子ども議会ということで、私と副市長、教育長と、この3人で皆さんの質問にお答えしていきたいと思います。

ぜひ今日の子ども議会が有意義に終わるように一緒に頑張っていきましょう。

どうぞよろしく願いをいたします。

議長（日野 佳澄議員） 本日の子ども議会の日程は、お手元に配付してあるプリントにより進めます。

議長（日野 佳澄議員） 最初に日程第1 座る場所の指定をします。

座る場所については、本日議席に配ってある表のとおりとします。

議長（日野 佳澄議員） 次に日程第2 子ども議会の日程は、本日1日としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

議長（日野 佳澄議員） それでは子ども議会の日程は本日1日と決定します。

次に日程第3 一般質問を行います。

質問時間については公平性を確保するため、議員1人当たり3分以内とさせていただきます。

なお、質問する場合には演壇に出て質問していただきたいと思います。

それでは事前に提出されております質問通告のとおり、順番に質問をお願いします。最初に1番、狛江第一小学校、鈴木一成議員。

〔1番 鈴木一成議員登壇〕

1 番（鈴木 一成議員） 狛江第一小学校の鈴木一成です。



1つ目の質問は、医療についてです。

今年の春に新型インフルエンザが流行しました。今のところ狛江市までは感染が広がりませんが、今後、鳥インフルエンザなどによるパンデミックが起こらないとは限りません。そこで、お聞きしたいことがあります。もし鳥インフルエンザなどによるパンデミックが起こってしまったとしたら、狛江市ではどのような対策をお考えですか。特に、発熱外来を設ける病院はありますか。

2つ目の質問は、狛江市内や狛江市外での連携についてです。

狛江市の人口は約7万人と規模がほかの市に比べて小さいです。警察署が狛江市にないということはこの前初めて知りました。人口が増加し、施設も増やすことができれば、地域活性化にもつながると思います。

そこで、お聞きしたいことがあります。ほかの市の協力のもとに一緒に行っていることはありますか。また、その逆に、狛江市が小さいからこそ実現できたことや、こ

れから狛江市らしさを生かした事業を行う予定はありますか。僕は、もっと人々が集まるような活気のある街にして、狛江を知らない人たちに少しでも知ってもらえたらいいと思います。

以上で質問を終わります。よろしく申し上げます。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） まず、1問目についてお答えをいたします。

新型インフルエンザについては、国の厚生労働省を中心に、東京都では保健所と連携をしながら取り組んでいくことにしています。

狛江市では、「狛江市新型インフルエンザ対策行動計画（素案）」というものをつくっています。今回の豚インフルエンザ発生のおきも、狛江市では4月28日に狛江市健康危機管理対策庁内会議を開き、その行動計画に基づいて対応をしています。今後、鳥インフルエンザが発生したおきも同じように対応していく予定です。

また、発熱外来を設ける病院については、パンデミック、鈴木議員は難しい言葉を知っていると思いましたが。これは、伝染病などが世界的に流行していくことですが、それに対応できる病院としては慈恵医大第三病院があります。

今年の春に流行した新型インフルエンザは、最初は保健所の指示を受けて発熱外来を設けた病院だけで検査や診療をしてもらいました。ニュース等でご存じかもしれませんが、幸い毒性の弱いものでしたので、現在では国は方針転換をして、それぞれ市内のお医者さんで診てもらうことになりました。

これからも情報を集め、秋から冬の感染拡大期に向けて迅速で適切な対応がとれるように、市役所も全力を尽くしていきたいと考えています。

以上です。

議長（日野 佳澄議員） 副市長。

副市長（松原 俊雄君） それでは、2問目につきましてお答えをいたします。



狛江市は面積が全国で3番目に小さい市で、人口密度も全国で3番目の高さです。小さな面積の中に多くの人々が住んでいるということが言えます。そのため、例えば大きなごみの焼却施設は狛江市だけで建てるよりも、ほかの市と協力して建てたほうがかかるお金が少なくなります。また、各市で燃やすよりも環境への配慮が少なく済みますので、稲城市、府中市、国立市と一緒にクリーンセンター多摩川でごみを燃やしております。

また、図書館についても隣の調布市、川崎市と協力して、皆さんが調布市や川崎市の図書館で借りられるようにして、他市と協力して行っております。

次に、狛江市が小さいことの特性を生かしていることにつきましては、市民と私たち行政、市民同士の距離が近いということで、例えば現在「絵手紙発祥の地」や「音楽の街」といった新しい取り組みも、皆さんにも身近に感じやすく、また、参加しやすいのではないかと考えております。また、「市民まつり」についても市が一体にな

って盛り上がっていると感じていることが多く、それが小さい狛江らしさなのではないかと思っております。

これからも人々が集まる活気あふれた街にしていきたいというふうに考えております。

以上です。

議長（日野 佳澄議員） 次に2番，狛江第一小学校，園田健太議員。

〔2番 園田健太議員登壇〕

2番（園田 健太議員） これから質問を始めます。狛江第一小学校の園田健太です。



1つ目の質問は、図書館の本についての質問です。

僕は本が好きで、自宅から中央図書館が近いので、行って本を借りています。もちろん、最初的时候にはこんなにいっぱい本があってうれしいなと思っていましたが、最近は、この図書館、本が少ないなと思うようになりました。

だから、本を増やしてほしいです。本を増やすことで子どもの想像力や読解力が増え、今後の狛江市の発展につながると思います。

次の質問は、市民グランドについてです。

市民グランドでは、市民大会などがあってグランドを使っています。しかし、使っていない時間を開放してくれませんか。狛江市には、広くてみんなが遊べる場所がないと思います。市民グランドみたいに楽しく遊べて広い場所があれば、みんなが外に出て健康になり、親子の絆や友情を深めるいいきっかけになると思います。

最後に、環境についての質問です。

最近、環境問題が深刻になってきました。狛江市はエコ活動などはしていますか。僕たちのクラスでは、去年からエコ実行委員というものをつくって、クラスでエコ活動をしています。みんなで協力してペットボトルのキャップを集めたりしました。僕は、キャップ回収箱などをつくり狛江市の皆さんにもエコの協力をお願いしてみたいと思います。狛江市の皆さんが真剣に取り組んでくれれば、大きな成果が出ると思います。

以上で質問を終わります。よろしく申し上げます。

議長（日野 佳澄議員） 教育長。

教育長（木村 忍君） 1問目の図書館の本を増やすことはできないかと、市民グランドの開放の2つについてお答えいたします。

最初に図書館のことですが、園田さん、本が好きで、よく図書館を利用いただいているとのこと。大変ありがとうございます。

私も本は教育的にも、そして市民の交流にも大いに役に立つ大切なものだと思っております。

ですから、本を増やすことにつきましては、私たちもできればそのようにしてい

たいと常に思っております。

ただ、図書館をいつもご利用いただいてわかるように、図書館そのものが余り広くないために本を置く場所を増やすこと、これはなかなか難しいのが実情でございます。

中央図書館の児童向けの本は約3万9,400冊ありまして、大人の人が中心に読む本、一般書と呼んでいますが、その一般書に対しまして23.6%となっております。この一般書についてももっと増やしてほしいという希望をたくさんいただいておりますので、児童書だけを増やすというわけにもいきませんので、図書館の担当者もいろいろと苦労しているところでございます。

これからも児童書の数をどうしたら増やせるか工夫はしていきたいと思いますが、狛江市の図書館は地域センターの図書館等とお互いに貸し出しの連携をしております。これはご存じかもしれませんが、中央図書館にないときには、ほかの地域センターなどに検索して、あればその貸し出しをすると、こういう関係プレーをしておりますので、ぜひ図書館の職員等にお尋ねいただければと思います。

2問目の市民ランドですが、今、園田議員が言われましたように、狛江市は広い場所が少ない、これは事実でございます。

まず、市民ランドの利用状況ですが、冬以外は1日を6回に分けて貸し出しをしております。平日の夕方や土曜、日曜日は利用率が高くて、ほとんど予約が入っているというような状況です。

今、園田議員がお尋ねの、使っていないときの開放ということですが、空いているときには有効に活用してほしいというのは私たちも思っておりますが、ただ、そこで万が一けがをしてしまったり、あるいは使っている人同士のトラブル等があったときに、人がおりませんのでうまく調整するということが、なかなか難しい状況になっております。

ですから、空いているからこの時間は自由に使っていいよと、そういう貸し出しの仕方は現在していません。

そのかわりに、5名以上で責任者として大人の人が1人入り登録をしていただきますと、それは登録団体として認められますので、空いている時間をなるべく見出しながら、登録しておいてその時間に使うということは十分できると思います。そんなこともひとつ工夫していただければと思います。

1, 2問目につきましては終わります。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 3問目についてお答えをいたします。

狛江市では、市役所で働いている職員に向けて、環境のための行動のルールというのを定めています。平成18年度までに生物に悪影響を及ぼす温室効果ガスを2%減らすという目標を立てて、電気や水道、ガスなどの使用量を削減したり、市役所の車の使用を控えたりしています。また、ごみの減量やコピー用紙の節約、再生紙の利用など、いろいろなエコ活動を進めています。

その結果、平成19年度で温室効果ガスは目標以上の4.5%の削減ができました。現

在は、平成18年につくった狛江市地球温暖化対策実行計画で平成22年度までにさらに2%減らしていこうという取り組みを進めています。

園田議員のクラスのエコキャップの回収というのはすばらしい活動だと思います。これからも長く続けていただきたいと思います。

市の職員も自主的な活動としてエレベーターの前などに収集箱を置いて集めて、月1回、障がい者福祉施設の方々がこのエコキャップを回収しています。キャップの1つ1つは小さいものですが、みんなの協力でエコ活動は大きく育っていくと思います。

市も広報やホームページを通じて、市民の皆さんにも協力をもっと呼びかけていきたいと思っています。ぜひ、園田議員のクラス、これからも身近でできることから粘り強く環境のために頑張ってくださいと思います。

以上です。

議長（日野 佳澄議員） 次に3番、狛江第一小学校、山田紗季議員。

〔3番 山田紗季議員登壇〕

3番（山田 紗季議員） これから質問を始めます。狛江第一小学校の山田紗季です。



1つ目の質問は、狛江駅近くの自転車置き場についてです。

駅のそばには自転車を置く設備があってもお金がかかるものばかりで、小学生の私たちにはなかなか利用することができません。習い事があって、自転車で駅に行ったときは近くにある市役所に自転車をとめようと考えました。しかし、市役所利用者以外使用禁止と書いてあり、どうしたらいいのか困ったことがありました。

周辺にだれもが無料で自転車をとめることができる場所をつくることはできないのでしょうか。

2つ目の質問は、公園についてです。

この前友達と公園でバドミントンをして遊んでいたら、羽根が木にひっかかってしまいました。とるのに苦労したことがありました。また、公園の砂場は野良猫や飼い猫のふんなどで汚れていたり、お菓子やペットボトルなどのごみが散乱していたりすることも気になります。

子どもたちがのびのびと遊べ、スポーツができ、清潔で気持ちよく利用できるように公園を改善したり、よくない使い方をやめさせたりすることはできないのでしょうか。

以上で質問を終わります。よろしくお願ひします。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） まず、狛江駅周辺の駐輪場に関する質問からお答えをいたします。

駅周辺には放置自転車がたくさんあって、車いすやベビーカーでの通行を妨げたり、

救急車などの通行を困難にしたりしています。また、駅前の美観を損なうことから、狛江市では駅周辺の放置自転車をなくそうと撤去する活動を進めています。そのためには自転車を置ける場所が必要なので、これから駐輪場はもっと増やしていきたいと考えています。

ただ、駐輪場をつくるというのは、大きさとか場所にもよりますけれども、その土地を買うだけで2億円とか3億円、こんな大きなお金がかかっていきます。工事をするのも、それからでき上がってから整理をしていくにもお金がかかります。それだけ税金をかけた施設を、駅まで自転車を利用する何百人かの人だけ無料で提供することに市民の多くの人が納得をするのか、ちょっと疑問に思っています。

ですから、利用する方々にも少しでも負担をお願いしたいので、新しくつくる駐輪場についても駅近くについては有料にしていきたいと考えています。市民の皆さんには自転車を使うのなら駐輪場経費の一部を負担する、負担をしたくないなら頑張って駅まで歩いていく、このどちらかを選んでいただけたらなと思っています。

ただ、小田急線高架下の小田急マルシェの駐輪場は、満杯のときも多いんですけども、最初の2時間は無料で利用できます。

引き続き2問目にお答えいたします。

公園の砂場がふんで汚れているということですが、野良猫や放し飼いにしている猫は人の目が届かないときにふんをしているようです。市内の公園には合わせて41の砂場がありますが、そのうち18か所に猫よけネットを設置しており、そのほかの公園にもこれから順番で取りつけていきたいと考えています。

また、市では業者の方に頼んで公園の清掃を10日に1回、それから、草むしりを年3回行ったり、それから、市の職員が月1回ほどごみの回収と遊具などの点検で市内の公園を回ったりしています。しかし、それでも公園などは汚されてしまうので、やはり砂場を含めて飼い主あるいは利用者としての責任を果たしていただきたいし、市のほうからも利用者、市民の方々にマナーの向上をさらに訴えていきたいと考えています。

山田議員はアドプト制度というのを聞いたことがあるでしょうか。アドプトというのは里親、親のかわりに育てる方という意味なんですけれども、公園とか道路の植え込みなどを市民の団体や企業などにボランティアで市にかかわって育てていただく、清掃などをして維持管理をしていただくと、そういう制度です。現在、12か所で11団体延べ173人の方がこのアドプト制度に参加をして、公園などの清掃を行っていただいております。

これからもこうした取り組みを広げるなど、皆さんが気持ちよく公園等を利用できるように努力をしていきたいと考えています。

以上です。

議長（日野 佳澄議員） 次に4番、狛江第三小学校、鈴木智香議員。

〔4番 鈴木智香議員登壇〕

4番（鈴木 智香議員） これから質問を始めます。第三小学校の鈴木智香です。



1つ目の質問は、たばこのポイ捨てについてです。

最近はそのなに見かけませんが、時々道に落ちているのを見かけます。たばこは落ちていると邪魔だし、あっても拾って捨ててくれる人がそんなにいません。それに、まだ火がついていたりしていると火事とかの原因になるかもしれないので危ないので、できるだけ人の目につくところに喫煙所をつくってほしいです。

2つ目の質問は、子ども議会で話し合ったことはどう生かされていくかについてです。

実行されるかどうか分からないので、そういうことをあらかじめ伝えておいたほうがいいと思います。

これで終わります。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 1問目からお答えをいたします。

たばこのポイ捨てについても先ほどの放置自転車と同じで、基本的には一人ひとりの人の心がけの問題でもあると思っています。しかし、人込みで平気でたばこを吸っている大人たちがまだまだたくさんいます。鈴木智香議員の言うとおりに火事の可能性もありますし、やけどなどの危険とか周りの人に対する健康上の悪影響も考えられます。

そのために、国では法律で電車や公共施設などでたばこを吸うことを禁止しました。すると、今度は禁止をされていない場所や道路の上で吸う人が増えてきています。

ですから、道路で歩きながらの喫煙、それからたばこの火によるやけどなどの被害を防ぐためには、もっとマナーを向上させてほしい、そういうキャンペーンを狛江市ではほかの市と一緒に続けてきています。もしこれでもなかなか守られないで、そしてまた被害が出るようでしたら、市の法律である条例というものをつくって、たばこを吸ってはいけない地域をもっと広げて規制を強めていく。もしそれを破れば罰金などを取っていく、そういうことも将来的には考えていかなければならない、そういう時期に来ていると思っています。

これからもいろいろな機会を通じて、たばこやごみのポイ捨てなどをなくしていく、そういう努力を一生懸命やっていきたいと思っています。

次に、子ども議会の結果はどうなっていくのかというご質問です。

一昨年、狛江で初めて子ども議会を開催しました。そこで出た意見には、実現ができるもの、これから研究をしなければいけないもの、実現がやっぱり難しいなと思えるもの、いろいろありました。

その中で、2年間で実現した幾つかのものを紹介しますと、高齢者の方が楽しく過ごせる施設をつくってほしいという要望をいただき、これについては狛江団地の中の公園に高齢者が気軽に参加できる運動のための教室というものをつくっています。

それから、地球温暖化対策が前回大勢の方から出ました。それについては翌年の20年

度に小学生環境サミットというのを開催して、各小学校の環境問題への取り組みを交流しました。そして、今後CO₂削減を考えるきっかけとしていくために、それぞれの学校で使っている電気、水道、ガスなどについてどのくらいの使用量があるのか、環境家計簿というものをつくるようにいたしました。

それから、教室にクーラーをつかってほしいという要望も何人かの方からいただきました。これは非常にお金がかかることと、どこかに1か所につけるとすべての学校に平等につけなければいけないので、一遍にやるには大変お金がかかってしまいます。そういうことで、高校受験を控えている中学校3年生の教室を対象に、少しずつですけども、計画的に設置を始めました。

それから、古い机といすを改善してほしいという声もありました。これについてはスクールセットの購入予算を小学校では19年度80セットを毎年新しく買っていましたけれども、それを20年度では200セットに増やしました。中学校でも19年度の120セットから20年度に150セットに増やして、交換のペースを速めてきています。

狛江には大勢の市民が自分の願いや要望をそれぞれ持っています。ですから、いろいろな声を聞きながら大切な税金をどこから使っていくのか、優先順位を考えていかなければなりません。今日いただく皆さんの質問も、その大事な声の1つとしてしっかり聞いて、内部で検討していきたいと思えます。

これからもこの子ども議会と、これは2年に1回になっていますけれども、その年の年には中学生の意見を聞くための中学生会議を毎年交互に開催をして、子どもたちの声も市政に反映させていきたいと考えています。

以上です。

議長（日野 佳澄議員） 次に5番、狛江第三小学校、永島美純議員。

〔5番 永島美純議員登壇〕

5番（永島 美純議員） これから質問を始めます。第三小学校の永島美純です。



1つ目の質問は、狛江駅周辺の放置自転車についてです。

喜多見駅前にある放置自転車の数と狛江駅にある放置自転車の数が違い過ぎると思います。特に、狛江駅周辺は細い道が多く、少しの自転車でも通ることが困難です。また、飲食店などの前に自転車があると、そこに入れなくなってしまいます。それに、点字ブロックの上に自転車があると非常に危険で、実際に危険な目に遭っている人も見えています。

そこで提案があります。自転車が通行人に邪魔にならないような自転車置き場をつくることはできませんか。

2つ目の質問は、警察署についてです。

狛江市には交番はあっても警察署はありません。三小では、セーフティ教室があるのに調布警察の方がいらっしゃるのです。狛江市にも警察署は必要だと思うし、警察署があったほうが安心できると思います。万が一、事件が起こったときに大変だと思います。それに、狛江警察の方がセーフティ教室に来てくださるほうがうれしいので

す。

そこで提案があります。警察署を狛江市につくることはできませんか。

以上で質問を終わります。よろしくをお願いします。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 2問についてお答えをいたします。

放置自転車について、3番の山田議員のときにも少し答弁をいたしましたけれども、狛江駅周辺では道路上に自転車がたくさん放置されていて大変困っています。狛江駅周辺だけで1日平均600台から900台放置をされており、毎週その自転車を撤去してきました。しかし、撤去の直後というのはきれいになるんですけども、時間がたつにつれて、というよりもその日のうちに放置台数が増えて、もとに戻るといった繰り返しが今までずっと続いています。これではやっぱり駅の周辺の安全や美観が保たれないと考えて、この7月から撤去の回数を昨年に比べ2倍近く増やして、駅周辺の環境をよくするようにさらに努力をしているところです。

駐輪場の増設ですけれども、駅周辺の土地が大変高いことや、それから、適当な空き地が少ないことから、その場所の確保は簡単にできないでいます。

しかし、放置自転車をなくしていくためには、それを受け入れる駐輪場というものをつくらなければなりません。この夏、狛江駅の北口交番の裏に180台分の有料駐輪場を開設していく予定です。それだけではまだ足りないので、これからも駐輪場を増やすために、小田急電鉄や近隣の土地を持っている方々など、いろいろと相談をしながら増やす努力を強めていきたいと考えています。

次に、警察署についてです。

警察署というのは、1つまたは複数の市町村を受け持つように設置がされています。調布警察署の場合、調布警察署という名前ですけれども、調布市だけの警察署ではなくて、調布市と狛江市の2つの市を受け持つ警察署として設置をされています。これは法律で、複数にまたがる市町村を受け持つ場合には大きなほうの市の名前を使うことが決められているので、調布と狛江の場合には調布の名前がつけられることになっています。

ですから、セーフティ教室にも、調布警察署からは自分の管轄の地域のこととして狛江にも来ていただいています。

狛江市内に新しく警察署を設置できないかということですが、設置をするかどうかを決めるのは狛江市ではなくて東京都になります。設置にはお金がたくさんかかる上に、人口や交通の安全な状況、それから犯罪の発生する状況などを考えて東京都が決めますので、狛江単独での設置は規模からいってもかなり難しいと思います。

現在、狛江市では、調布警察署を始め防犯協会や町会、自治会、PTAなどが参加をする生活安全対策協議会というところが活動しています。安心安全パトロールなど、子どもたちの見守りの活動を重点に市民ぐるみで防犯対策を進めています。昔は、狛江も犯罪や交通事故が多い時期もありましたけれども、今ではこうした努力が実って、昨年の犯罪の発生件数は、多摩地域すべての26市、それから23の特別区の中で狛江市

は2番目に少ない数でした。それから、交通事故の件数も、その49の市と区の中で最も少なかったのが狛江市です。ですから、狛江市には警察署の建物はないけれども、調布警察署や市民みんなで力を合わせて、今の東京では最も安全な都市になってきていると思っています。

ぜひ、小学生の皆さんには、交通事故や犯罪には十分気をつけて、何かあったらすぐに大人の方に話したり、警察に連絡したりして安全を守れるようにそれぞれ頑張ってくださいたいと、このことをお願いいたします。

以上です。

議長（日野 佳澄議員） 次に6番，狛江第三小学校，日浦愛夏議員。

〔6番 日浦愛夏議員登壇〕

6番（日浦 愛夏議員） これから質問を始めます。狛江第三小学校，日浦愛夏です。

1つ目の質問は，交番についてです。



狛江市には警察署がありません。交番はありますが，パトロール中は交番に人がいないので，何かあった場合に行っても危ないです。

そこで，提案があります。交番には常に1人はいてもらうことはできませんか。

2つ目の質問は，エコルマホールについてです。

狛江市にはとても立派なホールがありますが，市民の人はあまり行かないと聞きました。もっと市民が興味を持つようなことをしてほしいです。

そこで，提案があります。例えば映画をいっぱい上映すれば，今までほかの市に見に行っていた人たちがエコルマホールに見に来てくれると思います。私も新百合ヶ丘や調布市などで映画を見るので，同じお金を使うなら狛江市に払いたいと思うからです。エコルマホールに市民がもっと興味を持つようにすることはできませんか。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） まず，交番の設置についてからお答えします。

調布警察署の管内のうち，狛江市内には6か所の交番があります。南部地域では猪方交番があり，そのほか，市内には和泉多摩川交番，岩戸交番，狛江交番，中和泉交番，小覚交番と5つあります。

調布警察署に問い合わせたところ，現在は空き交番がないよう最低1人以上の警察官を配置しているそうです。でも，確かに交番にだれもいないときがありますけれども，それは近くで事件があった場合やパトロールに回るなど，仕事で出ているためだと聞いています。なかなか人数を増やすのは警察も難しいということを言われています。

そういう努力はしていただけるそうですけれども、もし何かあって駆けつけたときに警察官がいない場合には、交番にあるクリーム色の電話機を使ってください。その電話機は調布警察署との直通電話で、それで通報があったらすぐに対応してくれるとのこと。また、日ごろ何かあった場合には110番通報していただき、パトカーや近くのパトロール警察官を呼んでくださいとのことでした。狛江市内には、事件がない平常時には常に市内にはパトカーが1台以上回るようにしているので、電話があったらすぐに到着してくれるそうです。

2問目の答弁に入ります。

エコルマホールは平成7年11月にオープンし、現在、狛江市文化振興事業団という団体が管理・運営をしています。設置した目的は、いろいろな文化芸術活動を通じて市民や地域社会が元気になってもらうことにあります。現在、質の高いすぐれた公演を市民の皆さんに楽しんでもらおうと有名な音楽家やオーケストラ、劇団などを呼んでコンサートやお芝居などさまざまな公演をしています。また、市民自身の日ごろの文化芸術活動の発表の場としてもよく活用されています。

これらのイベントには大勢の人が見に来て来てくれますけれども、主に土曜や日曜、そして平日でも夜の利用が多くて、平日の昼間が空いていることが多いようです。

文化振興事業団では、もっとエコルマホールを利用してもらおうと、いろいろな企画を考えてくれています。例えば大きな公演をする前に大抵リハーサルをやりませんが、そのリハーサルを子どもたちに無料で公開したらどうだろうか。それから、本番前の練習というのを必ずやりますけれども、その練習のコンサートを平日の昼間開いて聞いていただいたらどうだろうか。

また、「音楽の街 - 狛江」の実行委員会の皆さんと一緒に狛江の中学生を対象にして楽器の指導とか、それから、東京都大会などコンクールに出場するときのリハーサルなどで、未来の音楽家を応援する活動も企画をしていこうというふうに今議論していただいています。

こうした中で、映画の上映について日浦議員からご提案をいただきました。音楽や舞台などが好きな人にも楽しんでもらうためには、映画だけをたくさんというわけにはいかないんですけれども、しかし、よいアイデアだと思いますので、文化振興事業団の理事会の皆さんに伝えて、これから映画の独自の取り組みも検討してもらおうようにしていきます。

よろしくお願いたします。

議長（日野 佳澄議員） 次に7番、狛江第五小学校、栗山愛美議員。

〔7番 栗山愛美議員登壇〕

7番（栗山 愛美議員） 狛江第五小学校の栗山愛美です。

1つ目の質問は、緑を増やすことについてです。

今の狛江市は畑などの農地や緑がまだ多く残っていますが、それでも住宅地になったりと確実に減っていきっていると思います。

そこで提案ですが、街路樹などの木や花を増やすことはできないでしょうか。緑を



増やすことでより住みよい狛江になるし、地球環境にもよいと思います。

それに関連して2つ目の質問をします。

狛江市は水と緑のまちです。さらに、緑や花を増やすために花の苗や種を配るようなイベントはできないでしょうか。そうすることによって、学校や家の庭も今より花や緑が増えると思います。花と緑がいっぱいにあふれる狛江はすてきです。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 街路樹などの木や花を増やしてほしいという質問についてお答えをいたします。

狛江市では緑の基本計画というのをつくって、現在ある緑を守ったり新たに緑を増やしたり公園の整備を進めたりしています。開発がどんどん進んでいる中なので、緑を守り増やしていくことは大変難しい課題ですけれども、公園、畑などを守ったり、公共の施設や道路に木を植えたり、樹林地などを積極的に購入して市の樹木として保全することも今実行しているところです。

現在、五小地域にある東野川テニスコート横の樹林地を3年計画で買っている最中です。市民の方には、指定された古い樹木の管理費を助成して大切に育ててもらったり、生け垣をつくるときの費用を補助してブロック塀を緑の垣根に変えてもらうように働きかけてもいます。

また、五小の校庭の一部に芝生が植えられ、今月から使えるようになりましたね。これも緑を増やす取り組みの1つで、学校だけでなく地域の方々が応援をしていただき、芝生を育てていただいています。ほかにも、校舎に沿って緑の陰をつくっていく緑のカーテンづくりも夏の暑さ対策として考えているところです。

これからも狛江が緑豊かな環境になるように、市民の皆さんと一緒に努力をしていきたいと思います。

引き続き、花の苗や種を配るイベントをしてほしいという提案についてお答えします。

市内に緑を増やそうと毎年4月下旬と11月の市民まつりのときに植木即売会を開いて、そのときに苗木を100本無料で配っています。今年の春は、4月25日、26日に行いました。それと、6月の環境月間というイベントで150鉢の花を無料配布しています。これらは市民の皆さんに大変人気があって、配る前から大勢の方が並んで待っているほどです。

現在、市役所の5階にある環境管理課の窓口で4種類の花の種を無料配布しています。これは、東京のすべての市区町村が共同して緑の保全、地球温暖化の防止に取り組む「東京・温暖化防止プロジェクト」という事業の1つとして行っています。数に限りはありますが、今日は子ども議員の皆さんに議会が終わった後、この種を配りますので、ぜひ育ててみていただきたいと思います。

私も花があふれる街というのはすてきだと思います。道路沿いにある家が花にあふれる庭になれば、通行人の方も楽しむことができると思います。

それで、こうした「花いっぱい運動」を市民の皆さんに広く呼びかけていく取り組みをこれから検討して、実現に向けて努力していきたいと思います。

議長（日野 佳澄議員） 次に8番，狛江第五小学校，栗山めぐみ議員。

〔8番 栗山めぐみ議員登壇〕

8番（栗山 めぐみ議員） これから質問を始めます。狛江第五小学校の栗山めぐみです。



1つ目の質問は，学校の施設についてです。

それぞれの学校ができた年代も違っているのですが，学校の施設に差があるような気がします。例えば緑野小の体育館には冷房，暖房がついていると聞きました。でも，体育館を新しくした五小にはついていません。ですが，そのかわり五小には芝生があります。組み体操の練習をするときにもとても役に立ちました。それぞれの学校により施設が平等に各校にも設置されると学習の環境が整ってよいと思うので，そのようにできない

でしょうか。

2つ目は通学についてです。

住んでいるところで学校が決まるのではなく，自分で学校を選ぶことはできないでしょうか。例えば，とても仲のよい友だちがいても中学になると別々になってしまう，そういうことがよくあると思います。中学も自分たちで選べて行けるとうれしいと思います。

以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

議長（日野 佳澄議員） 教育長。

教育長（木村 忍君） 2問お答えいたします。

最初の学校施設についてですが，学校施設は，確かに学校ができたときですとか，あるいは建てる場所の条件などがいろいろありますので，施設の内容が異なるところは幾つかあります。でも，どの学校で勉強している子どもたちも同じ狛江の子どもたちですので，できるだけよい環境を公平につくるように努力しているところでございます。

緑野小学校の体育館の例が出されましたが，これは例外的な処置なのですが，例えば地震が来ても大丈夫なように進めている耐震工事や，あるいは小学校，中学校の特別教室へのクーラーの設置，また，先ほど4番の鈴木議員さんにも市長がお答えしましたが，中学校の3年生の普通教室へのクーラーなど，何年かかけながらもどの学校も公平になるように行っているところでございます。

また，実験的にやってみて，よければ今後各学校にも広げてみようというものもあります。例えば今，栗山議員さんが通っています第五小学校の校庭の芝生などがその1つの例でございます。今，お話では喜んでいただいているようで大変うれしく思っ

ております。

これからも各学校の特色を生かしながら不公平にならないように、そして、よりよい施設になるように努力していきたいと思っております。

それから、2番目の質問です。

自分で行きたい学校を選べるのを「学校選択制」というふうに呼んでおります。少し難しくなるかもしれませんが、狛江市ではこの選択制は現在行っておりません。その大きな理由ですが、皆さんが住んでいる地域と学校とは大変関係が深く、学校は地域の人たちの力や歴史や文化によって支えられている点がたくさんあります。また、安全の面からできるだけ地域の学校に通うほうがよいと考えているからです。

また、狛江市ではどこの学校へ行ってもわかる授業、楽しい学校生活ができるように、学校も私たちもいろいろと努力しているところでございます。

栗山議員の言われますように友だちの関係ですが、よいお友だちをつくるということは大切なことで、一生の宝物ですから大切にしなければなりません。お友だちが別の中学校へ行くから、じゃ学校を選んでいいよということは基本的には行っておりません。ただし、学校が決まっているから他の学校へ行ってはいけないというのではなく、一人ひとりさまざまな理由もありますので、弾力化という方式をとっております。条件に当てはまる場合には希望する学校へ行けることがございます。

議長（日野 佳澄議員） 次に9番、狛江第五小学校、斉藤海議員。

〔9番 斉藤海議員登壇〕

9番（斉藤 海議員） 狛江第五小学校の斉藤海です。



1つ目の質問は、サッカーや野球ができる広い公園をつくることはできないかということです。

僕は野球をやっていて、ふだんは近くの公園で遊んでいますが、いざ野球をしようとなるとできる場所がありません。そこで、大きいグラウンドをつくってくださいというのは難しいと思うので、せめて野球ができるような広い公園を増やしてください。

2つ目は、ごみ半減作戦についてです。

自然環境のためにも狛江市のごみ半減作戦はとてもよいと思いますが、その成果を教えてください。また、どのような取り組みか、今後どのようなことをしていきたいか教えてください。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

議長（日野 佳澄議員） 副市長。

副市長（松原 俊雄君） それでは、1問目につきましてお答えをいたします。

公園は、憩いの場、遊びの場、運動の場所として小さな子どもからお年寄りまで多くの人々が利用されております。

そのため、例えばサッカーとか野球などは、小さな子どもやお年寄りにボールが当たりますと大変危険ですので、狛江市都市公園条例で禁止をしております。野球やサッカーにつきましては、規則に従いまして市民グラウンドや多摩川緑地公園グラウンド、

西和泉グランドなどで、こういった体育施設がございますのでご利用いただければと思います。

新しい公園をつくるとなりますと、まずは土地の購入、次に整備工事費、そして毎年維持管理の経費など多額のお金が必要となります。貴重な税金は、教育、福祉、安全安心など幅広く優先順位などをよく考えて使う必要がございますので、まずは小・中学校や保育園の耐震補強などの安全対策を優先してまいりますので、新たな公園づくりにつきましては今の厳しい財政状況では難しい状況と考えております。

以上です。

議長（日野 佳澄議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 2問目のごみ半減作戦についてお答えをします。

ごみの処理というのは、自分の家の前からごみ収集車によって運ばれたらそれで終わりというわけではありません。燃えるごみは焼却工場で燃やし、そのかすはセメントに再生をして使っています。この焼却場や埋立処分場、それからエコセメントといいますけれども、エコセメントの工場はほかの市と一緒に運営をしています。25市1町で一緒に経営をやっています。ここにかかる費用は収集や運搬なども含めるとそれぞれが数十億円以上かかっている、狛江の場合には年間で15億円かかっています。また、ごみの最終処分場を新しくつくるといのはかなり困難なので、今ある処分場を1日でも長く使えるようにするためにごみを減らすことというのはどこの市でも待たなしになっています。

そのために、狛江市ではごみの減量に力を入れてきましたけれども、もっとごみを減らさなければいけないと、平成17年に燃えるごみと燃えないごみのごみ袋を有料化にしました。今まではスーパーの袋に入れて出せばよかったんですけども、袋を買ってごみを出していただく、こういう形になりました。このごみ袋の有料化は、今までごみ処理をすべて税金で賄っていたものを、ごみを出す人にも出す量に応じて少しずつ負担をしていただくこう考えたからです。ごみ袋を買うことを通じてごみをたくさん出すとお金がかかるということを実感してもらえれば、もっとそれぞれのごみの減量が進むと期待をいたしました。

そして、有料化をしてからもう4年近くたちますけれども、ごみの量は有料化以前と比べて20%近くも減りました。先ほど言ったごみの焼却工場とか埋立処分場、エコセメントの工場というのは、それぞれごみを運び入れた量で負担額は決まってきます。

狛江市ではごみの量が大幅減ったので、有料化前と比べてそうした施設の負担額は節約ができるようになりました。よその人たちも大変感心をしており、これが半減作戦のうちの今の一番の成果だと思っています。

これからもごみを出さない努力と分別の徹底をお願いするなど、ごみ半減への取り組みを強めていきたいと考えています。

議長（日野 佳澄議員） ここでしばらく休憩します。約20分間です。

午前10時6分 休憩

午前10時30分 開議

副議長（鈴木 一成議員） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

議長職を交代します。副議長の狛江第一小学校の鈴木一成です。よろしくお願いいたします。

一般質問を続行します。

次に10番，狛江第六小学校，青島直輝議員。

〔10番 青島直輝議員登壇〕

10番（青島 直輝議員） これから質問を始めます。狛江第六小学校，青島直輝です。

今から2つ質問があります。



まず，野球やサッカーができるグラウンドが少ないことや遊具のある公園が少ないことです。そこで，多摩川の河川敷に大規模な遊び場をつくってほしいです。みんなが近所迷惑などを恐れず思いきり遊べる公園，遊び場を河川敷につくってほしいです。僕は野球やサッカーが好きなので，野球やサッカーができる広い遊び場を河川敷にぜひつくってください。遊具もあると小さい子ども遊べるので，ぜひお願いします。遊び場についてはクラスのほとんどの友だちが望んでいます。だから，遊び場についてはお願い

します。

2つ目の質問です。授業中に集中できるような環境をつくってほしいです。例えば夏，暑くてみんな授業に集中するためには涼しくすることが必要です。そのため，できればいいんですが，教室にクーラーをつけてください。よろしくお願いいたします。

質問を終わります。

副議長（鈴木 一成議員） 教育長。

教育長（木村 忍君） 2問についてお答えいたします。

最初に，河川敷の活用ということですが，河川敷とは，川の流れた川岸の敷地のことですが，狛江市の多摩川河川敷には野球のできるグラウンドが2面あります。このグラウンドのある場所を多摩川緑地グラウンドと呼んでいます。このグラウンドは狛江市のもののように見えますが，実は国の国土交通省というところから平成17年4月から平成27年3月までの10年間，都市公園，これは野球ですとか，あるいは運動公園として狛江市が借りているものがございます。

今，大好きな野球やサッカーということがありましたが，本当に広々とした河川敷で思い切ってやりたいという気持ち，これはもう本当によくわかりますし，その期待におこたえしていきたいんですが，今のグラウンド以外には狛江市に接しておりますこの河川敷でもそれほど広い場所がございません。ですから，国土交通省から河川敷を新たに借りてグラウンドをつくるということ自体が，狛江市の河川敷の面積からして大変難しいことになっております。できないということ，お断りする答弁というのは大変つらいんですが，現実の状況としてはなかなか難しいというところがございます。

それから，クーラーの設置については，できればということでご質問いただきまし

たけれども、授業に集中できる環境づくりというのはもちろん大切だと思いますし、クーラーの設置もそのうちの1つではあるというふうには思っております。

それでなくても、このところ毎年のように猛暑、猛暑という言葉がよくお聞きだと思いますが、本当に暑い夏が続いておりまして、前回の子ども議会の中でも、クーラーの設置という要望は大変多く出ておりました。

このクーラーを設置するための費用は、以前から比べますと大分安くはなりましたが、それでも大変高額なため、補助金と言いまして国からお金をもらうことができる特別教室、皆さんの学校で言いますと例えば図書館ですとか音楽室、保健室、家庭科室、コンピュータ室、そういうところを中心にクーラーを入れてまいりました。

ただし、これらの特別教室と違いまして、ふだん授業をしている教室のすべてにクーラーを入れるとなりますと、小学校だけでも相当高額な金額になってしまいます。

今後とも、この予算のことと併せまして、例えば学校の緑化などによって少しでもクーラーのかわりを果たせるものがないか、クーラーを設置するにしても健康の面ですとか学校の大きな改修、こういうものに合わせながら順次考えていきたいというふうに思っております。

副議長（鈴木 一成議員） 次に11番、狛江第六小学校、田宮英宜議員。

〔11番 田宮英宜議員登壇〕

11番（田宮 英宜議員） これから質問を始めます。



1つ目は、道の幅を広げ街灯を増やすことについてです。

狛江市の道路の幅は狭いところが多く、車いすに乗っている人が通りにくいところがあります。しかも、夜いつも歩く道が暗いです。なので、もっと明るくすることはできないのでしょうか。

2つ目は、多摩川のごみについてです。

僕たち狛江第六小学校は水辺の楽校竹本さんの指示でゴミを片づけたりしていますが、なかなか減りません。そのために、何かほかの対策はできるのでしょうか。

3つ目は、不況対策と地域活性化についてです。

この不況の中で、人の仕事がなくならないように地域活性化の努力をしているのでしょうか。

以上で質問を終わります。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 順番に沿って答弁をいたします。

まず、道路の幅を広げて街灯を増やすことについてですけれども、お年寄りや体の不自由な方のことを考えてくれてありがとうございます。歩道を広げることや段差の解消は、快適なまちづくりを進める上で大変大事なことです。狛江では、福祉基本条例という市の法律があって、それに沿って車いすでも街なかを移動できるように、新たに工事をするときなどはバリアフリー、障害をなくしていく、そうした考えを取り入れています。

最近では、岩戸児童センター入り口のスロープを改修しましたけれども、これからもこうした努力は強めていきます。

それから、街路灯は、原則として20メートル間隔で水銀灯あるいは蛍光灯を設置しています。それでも暗いのか、それとも20メートル間隔でないから暗いのか、ちょっと具体的な道路がわからないのでお答えづらいんですけども、いつも歩く暗い道については設置が必要か、担当の職員に現地を見てもらいますので、後で担当者のほうに教えてください。ほかと比べて必要性が高いようでしたら、すぐに改善をしていきたいと思います。

それから、2問目ですけども、多摩川は、先ほどの教育長の答弁にありましたように、国土交通省という国の役所が管理をしていて、多摩川のごみは国土交通省が収集することになっています。本当に多くのごみが捨てられており、近所の住民の方々も困っています。市としてもそのために国に対策をお願いしたり、注意の看板を立てたり、パトロールをして利用者にルールを守るようお願いをしてきました。

また、市民の皆さんと市と一緒に年1回、多摩川一斉清掃をするほか、老人クラブ連合会とか市民団体の皆さんもボランティアでそれぞれ清掃してくださっています。

また、バーベキューの後、本当にごみがものすごく散らかっているし、それから、バーベキューの後の鉄板を川で洗うので水の汚れもひどくなります。それらをどうしたらいいのか、なかなか対策が見つからないので、今年度は市民討議会というのを開催して、市民の皆さんと行政と一緒に、バーベキュー問題を中心にみんなで多摩川の利用の仕方について討論をしています。そこで意見がもしまとまれば、市民の皆さんと一緒に市も規制をかけるとか、使い方を変えるとか、そういう方向で努力をしていきたいと思います。

それから、3問目の不況対策と地域活性化についてですけども、昨年の秋から世界的な不況が起きて、日本でも輸出に頼る会社の多くは売り上げが落ち、社員を減らしたり給料を下げたりしたために、国民の全体の生活が苦しくなって、今度は国内でも物が売れなくなってしまいました。

そこで、狛江市では市内の会社に頑張ってもらおうと、会社の経営に必要なお金を銀行から借りやすくするように、融資あっせん制度を今年1月から実施をしています。また、お金を借りると銀行に利子を払わなければいけませんけれども、それも会社にかわって市が払うようにいたしました。この制度を利用することで、会社の経営が続けられるように応援をしています。

また、5月には、狛江わくわく商品券という市内のお店で使える商品券を1億円分発行しました。これは、1万円買うと1万1,000円分使えるという、使う側から見ると1,000円お得な商品券です。これを市内で使ってもらえれば、お店の売り上げも上がり、少しでも景気回復になると思って実施をしました。

そのほか、住宅がリフォームをする場合がありますけれども、リフォームをこの時期に行う家には補助金を出すことにしました。この機会に住宅改修工事を注文する人

が増えれば、今、不景気が最も直撃をしている建設関係の会社の仕事づくりにもつながっていくと考えているからです。

これからも地域が元気になるように、工夫しながら頑張っていきます。

副議長（鈴木 一成議員） 次に12番、狛江第六小学校、増田真由議員。

〔12番 増田真由議員登壇〕

12番（増田 真由議員） これから質問を始めます。狛江第六小学校の増田真由です。

1つ目の質問は、市内の医療施設についてです。

医師不足に加え、今、新型インフルエンザの問題が深刻になっていますが、今後、狛江市内に医療機関を増やす予定はありますか。また、改善の予定などは考えていますか。



2つ目の質問は、狛江の読書のことについてです。

私は、よく狛江市内の地域センターや図書館へ行っています。そのときに考えることは、狛江には地域センターや図書館が多いので読書量も多いだろうということです。この長所を利用して、より多くの本との触れ合いを増やしてみてもいいですか。私は、狛江を読書の街として発展させてみたいと思っています。

以上で質問を終わります。よろしくお願ひします。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 市内の医療機関の増設予定についてお答えをします。

狛江市の医療機関の数は、病院が慈恵第三病院など2か所、それから歯医者さんも含めたそのほかの医院は87か所あります。狛江市の周囲にある府中市、調布市、三鷹市などと比べても、人口に対する比率では狛江は決して少なくありません。また、狛江市の面積は日本でも3番目に小さな市なので、その点から見ても決して少なくはないという数だと思います。

ただ、狛江だけではないんですけれども、小児科とか眼科、それから耳鼻科など専門の医療機関の数が少ないので、こうした分野のお医者さんを増やすことは必要だと思います。狛江市は調布市や慈恵第三病院と一緒に、小さな子が平日の夜、急に具合が悪くなったときに、小児科のお医者さんに診てもらえる小児初期救急診療所というのを慈恵第三病院の中に設けています。これは、平日だけでなく土曜日の夜も受け入れられるようにしたいのですけれども、小児科のお医者さんが少ないために現在、実現できないでいます。

狛江市独自で医療機関を誘致するという事は難しいですけれども、市の医師会と相談をし協力をお願いするなど、これからも安心して住める狛江市にしていけるために頑張っていきます。

副議長（鈴木 一成議員） 教育長。

教育長（木村 忍君） 読書の街、狛江についてお答えいたします。

読書の盛んな街をつくらうというこのご意見に私も大賛成ですし、ご質問を大変う

れしく思っております。

まず、皆さんの各学校には学校図書館があり、そこには皆さんの読書に関する、あるいは図書に関するリクエストですとか本の相談、貸し出し、読み聞かせなどをしてくださる先生方や図書館司書の方々がいますので、どんどん相談をしていただいて、たくさん本を読んでいただきたいというふうに思っております。

また、狛江市はコンパクトな市で、学校以外の図書館としては中央図書館、4つの地域センター、それから公民館図書室があり、比較的身近で図書に触れ合うことができるのではないかなと思っております。

また、これらの狛江市の全部の図書館の図書を有効に活用しようということで、図書館ネットワークシステムができており、これらは各図書館同士、どこの図書館に何の本があるかよくわかるようになっておりますので、その本を借りたいときには各地域センターで申し込んでいただくこともできます。これらは小さな狛江の特色を生かした方策の1つだろうと思っております。

ちなみに、昨年、市内図書館から学校に貸し出しを行った冊数は、小学校では1万42冊、また中学校では1,869冊となっております。

これからも、まず学校の図書館を利用させていただくとともに、このようなシステムを利用させていただきまして、皆さんにとって図書館、そして読書が盛んなものになるように努力していきたいと思ひますし、皆さんもぜひそのように活用していただければと思ひます。

副議長（鈴木 一成議員） 次に13番、和泉小学校、浅野拓未議員。

〔13番 浅野拓未議員登壇〕

13番（浅野 拓未議員） 和泉小学校の浅野拓未です。



まず初めに、校庭を芝生にしてほしいです。

僕は校庭で遊ぶのが大好きです。いつもサッカーやタスケなどボール遊びをしています。友だちといつも力いっぱい遊ぶのが学校の楽しみの1つです。でも、校庭の地面がダストなので、転んだときにひどい傷になります。小さな石が入ったりすると、とるときにとっても痛いです。友だちを保健室に連れていったときも、ほかの学年の人たちも同じように痛い思いをしているのを見たことがあります。

みんなが転んでも痛くなく力いっぱい遊べるように、校庭を芝生にできないでしょうか。

2つ目の質問は、ボールを使ってもいい公園をつくってほしいということです。

僕はスポーツが大好きです。特に、ボールを使った遊びが大好きです。しかし、近くの公園にはボールを使ってよい公園がありません。広い公園なら大丈夫だと思っ友だちと遊んでいたら、近所のおじさんに怒られたことがあります。

みんなの公園なので、ルールを作ってみんなで守ればボールを使ってもいいのかと思うので、僕はボールを使ってもよい公園をつくってほしいです。いかがですか。

これで質問を終わります。

副議長（鈴木 一成議員） 教育長。

教育長（木村 忍君） 最初の校庭の芝生化についてお答えいたします。

学校で友だちと元気に遊ぶということは、勉強することと同様に大切なことです。このため、元気でけががないように遊べるように、校庭は十分に整備していかなければいけないというふうに思っております。

そのためには、校庭を芝生化することもその1つだろうというふうには思います。ただし、校庭というのはいろいろなことに使いますので、校庭のすべてが芝生化のほうがよいのか、また、芝生をずっときれいにし続けるためには水まきですとか肥料だとか草刈りだとか、いろいろ日常的にやらなければならないことがたくさんありますし、また、そのための費用も相当かかってしまいます。

先ほど五小の栗山議員さんからもこの件についての質問がありましたが、第五小学校では、校庭の一部を芝生にする取り組みを約2年間ほどかけていろいろ協議して進めてまいりました。つい先日、今日から芝生に入っているですよという芝生開きというのを行いました。

芝生もいろんな種類や、また張り方等もあるようですし、最近、各学校、各自治体がいろんなことをやって研究されておりますので、これからも第五小学校の様子や全国の芝生の取り組みなどをいろいろ研究しながら考えていきたいと、このように思っております。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 第2問目についてお答えいたします。

狛江には現在、公園の数は全部で約100か所あります。そのうち、小さな子どもたちが遊ぶ児童遊園が49か所、公園が32か所、それから樹林地、林の部分ですけれども、樹林地などが18か所あります。どこも使っている人たちの安全を考えて、それぞれのルールがつくられています。安全を考えるとどうしてもあれもだめ、これもだめという形になってしまって、浅野議員のような元気な皆さんには物足りなくなってしまうかもしれません。

でも、小さい場所で球技、ボールを使うゲーム等を認めてしまうと、例えば浅野議員たちは周りに注意をしながら遊んだとしても、ほかのグループではそういう注意をしないで遊んで事故を起こすことも考えられます。また、注意をしてもボールなど思いがけない形で小さな子に当たってけがをさせてしまうかもしれません。

ですから、安全のためのルールは市としては必要だと思っています。ただ、その安全のためということ为前提にしながら、新しいルールをつくっていきたいというのでしたら、市役所の公園を担当しているのは環境管理課というところです。そこと相談をしてみてください。利用者の安全が守られるようなルールづくりだったら一緒に検討できるかもしれません。

それからまた、西野川の小足立のびのび公園、前原とんぼ池公園のように、市民の皆さんに公園の管理をお願いしているところがあります。そういう公園では、学校や

P T Aなどを通じて管理をしている方々の団体と話し合いながら新しいルールを決めることはできると思います。

なお、浅野議員の和泉小からは少し遠いんですけども、東野川二丁目にある小足立児童グラウンドは、小学生までの子どもたちが遊ぶためならボールを使ってもいいことになっています。まだ使ったことがなければ、一度使ってみてください。

副議長（鈴木 一成議員） 次に14番、和泉小学校、大仁田千晶議員。

〔14番 大仁田千晶議員登壇〕

14番（大仁田 千晶議員） 和泉小学校の大仁田千晶です。私は2つのことを質問します。



1つ目の質問は、老人ホームを増やすことについてです。最近、テレビのニュースなどで取り上げられていますが、お年寄りの方が増え、老人ホームに入ることができないという人がたくさんいるそうです。

狛江市では、希望している人は全員老人ホームに入れるのですか。また、このことについて、市ではどのような対策をとっているのですか。

2つ目の質問は、こまバスの設備の安全についてです。

こまバスが運行される前に市内を走っていたみどり号がなくなってしまったのは、体に何らかのハンディがある人にはとても利用しやすい乗り物でしたが、一般の人はこのバスを利用できないからだと思っていました。だから、こまバスになって一般の人もハンディのある人も利用できる福祉的バスになったと思いました。

しかし、実際にこまバスを利用した方々に感想を聞くと、車いすで利用するには車内が狭く、回転ができなかったり、乗務員さんによっては車いすの固定の仕方がわからない人もいて怖い思いをしたり、他のお客さんに気を使って心苦しい思いをしました。また、足の不自由な方にとってはステップが高いため、バランスを崩してしまうような場面もありましたとおっしゃっていました。

パブリックコメントでは回答されていましたが、市長さんのお考えをお聞かせください。

以上で質問を終わります。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 1問目からお答えします。

年をとって体の自由がきかなくなり、人に手伝ってもらったり助けてもらったりすることを介護といいます。この介護の必要な人たちが入る施設を特別養護老人ホームといい、狛江市内には2つあります。市外の特別養護老人ホームにも特別に狛江市民を優先的に入れるよう契約をしている施設が5つあります。

この7か所の施設全体で204人が入居できるようになっておりますけれども、今、自宅で介護サービスを受けることが難しいところがどんどん増えて、211人の人たちが特別養護老人ホームの入所の順番を待っています。数年間待っていただくような状

態ですけれども、施設に入所できるまではいろいろ自宅でできる介護サービスの制度や方法をお知らせして、自宅で暮らせるように案内をしています。

しかし、順番待ちの方もこれからもっと増える見込みで、また、ご家族の方の苦勞も大変大きいので、これから市内で特別養護老人ホームを増設していくことも考えていきたいと思っています。

2番目のこまバスの設備についてお答えをします。

あいとぴあセンターなど福祉施設を利用する方の送り迎えをしていたみどり号は、高齢者や障がい者の方の乗り降りをスタッフが手助けをするなど、きめ細かな対応をしておりました。

ただ、大仁田議員のおっしゃるとおり、乗車できる方が福祉施設を使う方に限られていたので、1便当たり平均4.9人の乗降客で、あまり利用されているとは言えない状況でした。それから、南部地域のほうから市民総合体育館や慈恵第三病院にも1本で行けるようにしてほしいとか、いろいろ意見がありましたので、どのように改善するかを検討してきました。その結果、福祉施設の利用者だけでなく、だれでもが乗車できて市民全体が便利になるように、みどり号からこまバスへと変更することにいたしました。これまでみどり号を利用していた障がい者、それから高齢者の方々の運賃は無料にしたり半額にしたりして、利用しづらくならないように配慮をしてきました。こまバスを運行する小田急バスには、高齢の方や障がいを持つ方が多く利用されるので丁寧な運転をお願いし、小田急バスからは、運転手は車いすの乗り降りのお手伝いができるように、そのための研修を受けてから運転をすると聞いています。

しかし、大仁田議員より、車いすでの利用者がこまバスで怖い思いや心苦しさを味わったと伺いました。まだスタートから1年もたっていないので、運転手さんがなれていないのかもしれませんが、これは急いで改善してもらわなければならないと思います。改めて小田急バスに対して運転手さんへの指導や教育をちゃんと行うように要請して、こまバスがもっと市民に信頼され安心して親しんで乗れるように、市も努力をしていきます。

副議長（鈴木 一成議員） 次に15番、和泉小学校、中居林舞子議員。

〔15番 中居林舞子議員登壇〕

15番（中居林 舞子議員） 和泉小学校の中居林舞子です。



1つ目の質問は不審者情報についてです。

よく学校から不審者があらわれたという手紙が配られることがあります。不審者は悪いことをする感じがするので、絶対に捕まえてほしいです。そうでないと、私たち子どもは公園や外で安心して遊べません。塾帰りの子どもが6時ごろに歩いていて後ろから襲われたことがあります。私を知っている誘拐犯は、17歳の子どもが誘拐され、二十何歳で保護されたことがありました。なくす対策を立ててほしいです。

2つ目の質問は、公園にトイレと時計をつけてほしいです。

時々公園で遊んでいると途中でトイレに行きたくなります。家が遠かったりすると、公園にトイレをつけてほしいと思います。また、時計は、帰る時間がわからなかったり、夏は5時になっても明るいのでついつい遅くまで遊んでしまいます。だから、公園の真ん中に時計をつけてほしいです。

以上で質問を終わります。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 不審者対策からお答えをいたします。

狛江市では、狛江市生活安全対策協議会を設置して、子どもたちの見守りの対策などを重点に犯罪をなくすための活動を進めています。児童や生徒の皆さんへの不審者対応として、今、PTAのご協力をいただきながら学校安全ボランティアによる校内の巡回あるいは通学路のパトロール、また、町会や自治会、防犯協会など地域の皆さんによって、やはり通学路を含めた地域の安心安全パトロールというものが実施をされています。両方合わせて今、1,401名の方が地域や子どもたちの安全のためにボランティアで頑張ってくれています。

このほか、市の予算で安全巡回員による校内パトロールも実施をしています。また、学期の初めと終わりの前後約1週間、市内27か所の防災行政無線を利用して学校の帰宅時間に合わせて子どもたちを見守ってくださるよう、地域の方々にお願いの放送もしています。

市内やその周辺で犯罪が発生した場合には、その情報を携帯電話やパソコンに配信をする地域安心安全情報共有システムなどのサービスの活用も行っています。

こうした市民と行政との協働の取り組みで、狛江の犯罪の発生件数は平成14年のピーク時から46%も減りました。発生件数は先ほど永島議員にお答えしましたが、昨年は多摩地域、それから23区の中で狛江市は2番目に少ない件数にまでなりました。

こうした方々に支えられて狛江の安全が守られておりますので、ぜひ、ボランティアで協力している皆さんに会ったら、あいさつをしたりお礼を言ったりしてくれればありがたいなと思います。

次に、公園のトイレと時計の設置についてのお答えです。

現在、児童遊園や都市公園が73か所あって、そのうち時計は8か所、トイレは4か所についています。トイレは設置をしてもすぐに落書きをされたり壊されたりしてしまいます。犯罪に使われることもたまにはあります。よそではそういう犯罪に利用する方もいることから、近所の方々が管理をしてくれるようなところでないと、かえって危険になる場合もあります。ですから、今、市としてはそういう管理する方がいないところでのトイレの増設という計画は持っていません。

それから、時計については必要性や設置場所のスペースなどを検討して、必要などころには設置をしていきたいと思います。19年度の子ども議会でも同じような質問があり、その後、野川沿いの谷戸橋公園に時計を設置しました。中居林議員には、どの公園に設置してほしいのか、これも具体的に後で職員が聞きに行きますので、場所を教えていただければ、調査した上でその結果をお知らせするようにしたいと思います。

以上です。

副議長（鈴木 一成議員） 次に16番，緑野小学校，野元大暉議員。

〔16番 野元大暉議員登壇〕

16番（野元 大暉議員） 緑野小学校，野元大暉です。



僕は，健康で文化的な最低限度の生活を営む権利について質問します。

日本国憲法第25条には，健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が保障されていますが，この憲法の意味を考えてみました。

最初に「健康」についてですが，世田谷区は小学生の医療費は無料と聞いたことがあります。狛江市もそのようにならないのでしょうか。お金のない人は病院にも行けなくなり，健康な

生活が送れません。

次に「文化的」についてですが，大きな図書館を建設して勉強がいっぱいできる環境をつくってほしいです。それと，僕はサッカーが好きなので，ボールをたくさんけることができる広場が欲しいです。勉強とスポーツが思う存分できる社会こそが文化的な社会だと思います。

最後に「最低限度」についてですが，最近のニュースでは老人の孤独死の話がよく出ます。孤独死のような最低限度の生活も送れない社会は問題だと思います。老人が余りお金を払わないで入れる老人ホームは幾つくらいあって，待っている人はいないのでしょうか。狛江市で増設することはできないものでしょうか。僕たちの住んでいる狛江市がほかの町にうらやましがられるようになったら，僕たちの誇りにもなります。

どうぞよろしくお願いします。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 野元議員はよく憲法第25条を勉強しましたね。これはすごく大事な条文で，この第25条が狛江の隅々に息づくように頑張っていきたいと思っています。

小学生の医療費についてですけれども，狛江市では健康保険証でお医者さんにかかった場合，赤ちゃんから小学校入学前の子どもの医療費はすべて無料になっています。世田谷区は小・中学生も無料になっていますけれども，狛江市でも収入の多いご家庭を除いて今年の10月1日から入院やお薬をもらう場合には無料になり，お医者さんの診察は1回200円で受けられるようにしていきます。

なぜ診察を全く無料にしないのかといいますと，さっきも話題になりましたけれども，狛江市内に小児科のお医者さんというのは大変少なくて，無料だとむやみに診察をお願いする人がどんどん増えていくと，本当に治療を急いでやらなければならない必要のある人々が診察を受けにくくなったりもします。ですから，少しはブレーキをかけるようにしたほうが良いというふうに考えました。ですから，必要な人はきちん

と医療を受けられるようにすることと、実際にけがや病気になったときにみんなが負担感なく払える額として、1人1回200円という額を決めました。10月1日から実施をしていきます。

2問目は教育長と副市長がそれぞれ答弁しますので、先に3問目をお答えします。

老人ホームの増設ですけれども、余りお金を払わないで入れる老人ホームを特別養護老人ホームといいます。先ほど答弁をしましたとおり、狛江市内に2つ、それから市外で狛江市民優先の定員を持っている施設が5つあり、今211人が入所を待っています。

狛江市では、市内3つ目の特別養護老人ホームをつくれぬか、今検討しています。すぐにつくれればいいんですけれども、お金がやはりものすごくかかることや、どの場所につくるのか、経営をどこに任せるのか、いろいろ話し合わなければならないことも多くて、少し時間がかかります。特別養護老人ホーム増設の計画を立ててから入居できるようにまでは大体3年以上の年数がかかると思いますので、そのことも頭に入れながら早目に、また、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

副議長（鈴木 一成議員） 教育長。

教育長（木村 忍君） 私から、図書館の建設についてお答えいたします。



少し難しい言い方になりますが、確かに文化的な生活あるいは文化的な生き方というものに図書館は大きくかかわっているというふうに思っております。

現在、市内の各小学校とも図書館活動が活発に行われておりますが、野元議員の緑野小学校も図書館活動が大変盛んに行われている学校の1つでございます。そのような中で、読書や調べ学習等で日ごろから図書に親しむ機会が多く、その結果、さらに多くの本がある図書館あるいは勉強のできる図書館の建設

を希望されているんだというふうに思います。

確かに、中央図書館は余り大きくはありませんので、本をゆったりと並べたり、あるいは勉強するスペースというのは現在のところございません。このため、この中央図書館を今後どうするか、子どもも大人ももっと利用される図書館をどういうふうにつくったらいいか、これは、今、私、教育ということで携わっておりますが、市全体の問題ですので、市全体の計画の中で今考えているというところでございます。

副議長（鈴木 一成議員） 副市長。

副市長（松原 俊雄君） それでは、広場の建設につきましては私からお答えをいたします。

確かに、スポーツが思う存分、また自由にできるということは大変素晴らしいことだと思いますけれども、残念ながら今の狛江市にはそのような施設はございません。

平成19年からは、旧第四小学校の西和泉グラウンドを毎週木曜日の放課後を自由開放しております。

皆様方が体を自由に動かして遊びたいという場所をつくるために、これからも考え

ていきたいと考えております。

副議長（鈴木 一成議員） 次に17番，緑野小学校，藤田はるか議員。

〔17番 藤田はるか議員登壇〕

17番（藤田 はるか議員） 緑野小学校，藤田はるかです。私は，地球温暖化への対策と狛江の文化を育てる取り組みについて質問します。

1つ目の質問は，地球温暖化についてです。

今，地球では温暖化が進んでいて，温暖化が進むと，平均温度が上がってしまったり，海の水の量が増え，島が沈んでしまったりする問題が起きると言われています。そこで，質問です。狛江市では地球温暖化が進まないようにどのような対策をとっているのでしょうか。また，私たちができることはありますか。



2つ目の質問は，絵手紙についてです。

狛江市は絵手紙発祥の地と聞いています。私は青年会議所のキャンプで2度書き方を教えてもらいましたが，学校では学習したことが一度もありません。絵手紙を書いたとき，キャンプでの思い出や身近にあるものを書けるので，絵手紙を書くのはいいなと思います。

学校でも絵手紙を書きたいと思いますが，このようなことは計画にありますか。また，狛江市で絵手紙を教えている小学校はありますか。教えてください。

以上で質問を終わります。よろしくお願ひします。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 地球の温暖化は，私たちだけでなく，将来の人間やすべての生き物にかかわる重要な問題だと思ひます。企業の経済活動を抑えることが大切ですけれども，私たちも一人ひとりできる努力をしなければなりません。

今，市役所でやっている対策は，先ほど一小的園田議員のところでお話をしましたので，皆さんにしてほしいことをお話をしたいと思ひます。

まず，身近な電気，ガス，ガソリンなどは，つくるときもそうですけれども，使うときもたくさんの二酸化炭素が発生をします。エネルギーの無駄をなくすために，使わないときはまめにスイッチを切るようにしてください。例えばトイレの便座の暖房，冬などは大抵の方が使っていると思ひますけれども，トイレを使わないときにはふたをして節電モードにするとかなり電力が減っていきます。それから，テレビやリモコンをオンにすると，すぐに画面があらわれるようになっていますけれども，そのためには待ち受けの電力をずっと使っています。ですから，画面が出るのは多少遅くなりますけれども，そこを我慢してテレビを見ないときはもとの電源を切っておいてくれればいと思ひます。それから，冷房もできるだけ我慢をしてください。市役所も今室温が28度になるまでは冷房を入れないようにしています。そのかわりに，今日の私たちのように，暑苦しい背広やネクタイは着用しなくてもいいということにしています。

国民すべてがちょっとした努力や我慢をすれば、温暖化防止にかなり貢献ができると思います。狛江市では、市民の皆さんに協力を呼びかけるとともに、市役所の中でも昼休みの電気は切ったり、紙はできるだけ裏表を使うようにしたり、ごみの分別を徹底するなど、努力をしています。

2問目ですけれども、絵手紙は、今から28年前の昭和56年、狛江郵便局で日本最初の絵手紙教室が開かれたことをきっかけに全国に広がっていきました。狛江市では、この絵手紙を魅力あるまちづくりに生かそうと、平成19年度から「絵手紙発祥の地 - 狛江」実行委員会をつくって、絵手紙を皆さんにもっと知っていただくための活動を進めています。

小学生を対象にした絵手紙教室は、去年は3回行って、大変参加して下さった方々には喜んでいただきました。今年も小学生向けの絵手紙教室を2回行います。まず、7月27日に、藤田議員の学校、緑野小学校のサマースクールで「絵手紙発祥の地 - 狛江」実行委員会の方たちが先生となって、4年生から6年生を対象に絵手紙教室を開きます。そして、8月23日に第2回親子絵手紙サミットを開催します。対象は小学校3年生から6年生の親子8組で、会場は西河原公民館です。午前中は絵手紙教室を行い、昼食をとってから、参加者が書いた絵手紙の感想などを話し合っていきます。

現在、参加者募集中なので、ぜひ藤田議員も参加をしてください。

また、市内で絵手紙を教えている小学校ですけれども、これまで第五小学校の6年生が図工の時間に絵手紙の授業をしており、その作品を文化祭などでも発表してきました。今年度から第六小学校でも6年生が図工の時間に絵手紙の授業を行っています。

いろいろ条件などもあると思いますけれども、全市内の学校に広げていけたらなと希望しています。

以上です。

副議長（鈴木 一成議員） 最後に18番、緑野小学校、日野佳澄議員。

〔18番 日野佳澄議員登壇〕

18番（日野 佳澄議員） 緑野小学校、日野佳澄です。狛江市の施設の開放と川口町との交流について質問します。

1つ目の質問は、旧第七小学校についてです。



旧第七小学校の校舎は現在閉鎖されていますが、今後どうなるのでしょうか。計画があるのなら教えてください。さらに、校庭は西野川ひろばとなり、少し前までは開放していましたが、今は開放していないようです。和泉本町に住んでいる人たちはタコ山公園やとんぼ公園が近くにありますが、西野川に住んでいる人は近くに大きな公園がありません。だから、今までは西野川ひろばで遊ぶことができましたが、西野川ひろばがなくなってしまうととても困ります。今後どうなるのか教えてください。

2つ目の質問は、市民プールについてです。

市民プールの開放期間が短すぎると思います。学校の水泳指導は6月中旬から9月

中旬までです。プールは夏しか利用できないので、少しでも長い期間開放してもらいたいです。

最後の質問は、友好都市である川口町との交流についてです。

私は、青年会議所主催の自然体験塾に2回参加しました。狛江とは全く違う環境の川口町に行き、自然やさまざまなものを見たり聞いたりしました。川口町の人とも友だちになり、とてもよい経験をしました。

そこで、もっと多くの人にこのような体験をしてもらいたいと思いました。友好都市なので、たくさんの方が交流できるように考えてもらえないでしょうか。

以上で質問を終わります。よろしくをお願いします。

副議長（鈴木 一成議員） 市長。

市長（矢野 裕君） 1問目の旧第七小学校の校舎と西野川ひろばについて私からお答えをします。

校舎は、全体が傷んで、耐震補強もしていないので、これからの使用は難しいと思います。その後残しておくのと防犯や火事など安全面が心配なので、建物は近い将来取り壊していく、そういう予定でいます。

それから、西野川ひろばは、使い道が決まるまでの間ということで、校庭部分を一時開放してきました。今度、敷地の西側のところに東京都が、汚水と汚れた雨水が野川に流れないようにしていくために、雨水の貯留槽を設置していきます。その準備を今進めています。その工事に入ると危険なため、また、利用の仕方が決まったため、西野川ひろばについては閉鎖をいたしました。

工事が終わってから、貯留槽を地下に設置し、今、その地上の部分を市で公園などに利用させてもらえるように東京都に要望しています。

旧第七小の残りの土地については、昨年度、市の公共施設をどう考えていくのかという公共施設再編方針策定委員会というところで、ほかの土地と一緒にいろいろと議論をしていただきました。そこからは、撤去した放置自転車の保管場所や、老人ホームを設置したらどうかという意見をいただきました。それらを実際にどうしていくのか、年内に市役所としての方針を決めていこうと思っています。

遊び場については、とんぼ池公園、これは和泉本町ではなくて西野川の地域にある公園です。あと、小足立のびのび公園も利用していただきたいし、貯留槽の上に公園がつくれたら、今までのような面積はありませんけれども、そこも利用していただけたらと思います。

次の2問については教育長、副市長がそれぞれ答弁をいたします。

副議長（鈴木 一成議員） 教育長。

教育長（木村 忍君） 市民プールについてお答えいたします。

現在、市民プールの開催は7月15日から8月末までとなっております。これは、最も暑い時期に利用してもらおうということもありますが、幼稚園、小・中学校の夏休みに合わせて行っているからでございます。

もちろん、9月に入りましても暑い日というのはたくさんあるわけですが、学校が

始まりますと皆さん学校の授業が大変忙しくなりますし、ご質問者もお話ししておりましたけれども、9月の10日ぐらいまでは各学校でもそれぞれプールを行っていますので、市民プールに来る人たちが本当に急激に少なくなってしまいます。

そのようなことから、8月までにさせていただいているわけです。

副議長（鈴木 一成議員） 副市長。

副市長（松原 俊雄君） それでは、最後の質問の川口町との交流についてお答えをいたします。

川口町とは昭和62年7月にふるさと友好都市として交流を始め、川口町の川口まつり、田植えツアー、稲刈りツアー、山菜採りツアー、そして、狛江市の市民まつり、多摩川いかだレース、ふるさと自然体験事業など、さまざまな分野で住民交流を重ねてまいりました。

今年は新しい企画を予定しております。川口町で古くからの行事で、よりあいつこといって、それぞれの家から一品ずつ料理を持ち寄り、みんなで親交を深め合うというものがございます。そこに狛江市民が参加し、川口町民との交流をさらに深めたいと考えているところでございます。

今後も、川口町との交流が発展するような事業を企画していきますので、ぜひ参加いただけたらというふうに思っております。

なお、明日ですけれども、多摩川いかだレースには、川口町より「川口游川の会」と「がんばってます！川口」の2チーム25名ほどの川口町民の方がいらっしゃるそうでございますので、日野議員にもぜひとも応援していただければというふうに思います。

副議長（鈴木 一成議員） 以上で日程第3 一般質問を終わります。

副議長（鈴木 一成議員） 最後に、教育長からあいさつのため発言を求められておりますので、お願いします。

教育長。

教育長（木村 忍君） それでは、皆さん方にお礼を申し上げたいと思います。

ただいま市内6校の6年生18名の皆さん方からたくさんのご質問、ご意見あるいは要望等をいただきました。大変にありがとうございます。

ご質問いただきましたのは18名の方々ですが、質問の項目としては40項目、大変多い項目の質問等をいただきました。今、ほっとしているところではないかなというふうに思います。どうぞ、気をつけではなくて休めの姿勢で聞いてほしいなと思います。

議員になって質問を考えるということ、あるいはこの議場で緊張するということがありまして、議員になることは大変だろうというふうに思います。ただ、議員になって質問しようということになりまして、日ごろ、余り気にならないといいまいしょうか、気にかけていなかったことなども新しい発見等がたくさんあったのではないかなというふうに思っております。それだけでも大変貴重な体験を皆さん方はしたというふうに思っております。

また、私たちもいつも皆さん方のために、あるいは皆さん方がどのようにしたらいい学校生活ができるか、あるいは地域の中で楽しく安全にできるか考えているつもりではおりますが、このように改めてご質問等をいただきますと、ああ、新しい工夫も必要だなと、あるいはもっと皆さん方に説明もしなければいけないなど、そんなことにもたくさん気づきました。ぜひこの機会をいただいた質問等を生かしていきたいなというふうに思っております。

これからもさまざまなことに興味・関心を持っていただきまして、学校の勉強とあわせまして広い意味での知識を身につけていただきたいなというふうに思っております。

いよいよ夏休みに入りました。楽しく元気に、そして有意義な夏休みを過ごしていただきたいと思います。本当に大変ありがとうございました。

副議長（鈴木 一成議員） 以上で予定した日程が全部終わりましたので、これで平成21年子ども議会を閉会します。（拍手）

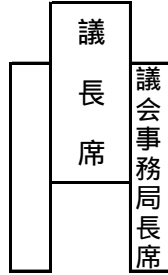
午前11時27分 閉会

狛江市子ども議会・資料

議 場 配 置 図

理 事 者 席

部 建 設 環 境 長	部 兒 童 青 少 年 部 長	部 福 祉 保 健 長	部 市 民 生 活 部 長	部 総 務 部 長	部 企 画 財 政 部 長
-------------	-----------------	-------------	---------------	-----------	---------------



議 會 事 務 局 席

理 事 者 席

			副 市 長	市 長
--	--	--	-------	-----

登 壇 席

速 記 者

理 事 者 席

教 育 長	教 育 部 長			
-------	---------	--	--	--

議 員 席

	9	8	7
	齊 藤 海	栗 山 め ぐ み	栗 山 愛 美

議 員 席

	6	5	4
	日 浦 愛 夏	永 島 美 純	鈴 木 智 香

議 員 席

	3	2	1	
	山 田 紗 季	園 田 健 太	鈴 木 一 成	

	18	17	16
	日 野 佳 澄	藤 田 は る か	野 元 大 暉

	15	14	13
	中 居 林 舞 子	大 仁 田 千 晶	浅 野 拓 未

	12	11	10	
	増 田 真 由	田 宮 英 宜	青 島 直 輝	

順番	議員名	質問内容
1	一 小 鈴 木 一 成	新型インフルエンザ対策について
		他市との連携と市の活性化について
2	一 小 園 田 健 太	図書館の本をふやすことはできるのか
		市民グラウンドの開放について
		環境問題（エコキャップ）について
3	一 小 山 田 紗 季	粕江駅の駐輪場について
		公園の美化について
4	三 小 鈴 木 智 香	タバコのポイ捨てについて
		子ども議会の結果について
5	三 小 永 島 美 純	放置自転車について
		警察署について
6	三 小 日 浦 愛 夏	交番をつくってほしい
		エコルマホールについて
7	五 小 栗 山 愛 美	街路樹等の木や花を増やしてほしい
		花の苗や種を配るイベントをしてほしい
8	五 小 栗 山 め ぐ み	学校施設について
		学校の選択制について
9	五 小 斉 藤 海	サッカーや野球ができる広い公園を作ってほしい
		「ゴミ半減作戦」について

順番	議員名	質問内容
10	六小 青島 直輝	河川敷の活用について
		学校へのクーラー設置について
11	六小 田宮 英宜	道路の幅を広げ、街灯を増やすことについて
		多摩川のごみについて
		不況対策と地域活性化について
12	六小 増田 真由	市内医療機関増設予定があるか
		読書の町～狛江について
13	和泉 浅野 拓未	校庭の芝生化について
		ボールで遊べる公園について
14	和泉 大仁田 千晶	老人ホームの増設について
		こまバスの設備について
15	和泉 中居林 舞子	不審者対策について
		公園へのトイレと時計の設置について
16	緑野 野元 大暉	小学生の医療費について
		図書館の建設と広場の建設について
		老人ホームの増設について
17	緑野 藤田 はるか	地球温暖化について
		絵手紙について
18	緑野 日野 佳澄	西野川広場（旧七小）のグラウンド開放について
		市民プールについて
		川口町との交流について

登録番号（刊行物番号）

H21 - 14

平成21年子ども議会会議録

平成21年11月発行

発 行 狛江市

編 集 狛江市児童青少年部児童青少年課

住 所 狛江市和泉本町一丁目1番5号

電 話 03（3430）1111

頒布価格 60円

印 刷 庁内印刷